

26年に渡る音楽活動



「Jフレンズ」はアマチュアのポピュラーバンド、リーダーは安登西在住の左田俊幸さん(72才)です。メンバーは高校生から72才までの男性4名と女性6名の老若男女で、左田さんいわく、「メンバーの気さくな雰囲気に惹かれて口コミで仲間が増えるんよ」と、メンバーは進学や就職で入れ替わりがありました。結成の1995(平成7)年以来今日まで活動を続けています。まさにリーダー左田さんの人柄ですね。

サクセスによるエネルギーな演奏で聴衆を魅了し、活動はせらウィナリーのヌーヴォーフェアや地域のイベントで演奏されるなど、市内外からも声がかかっています。

レパートリーは歌謡曲のほか、ポップスや童謡、ラテンなど多彩で、毎週日曜日16時～18時30分、安浦町まちづくりセンターで練習しています。



仲間が増えた！

青空市マルシェ

昨年地域おこし協力隊の二神愛美さんが「安浦ににぎわいを！」と、始めたマルシェ。安浦の駅前からスタートし1年たった現在は、呉広域商工会安浦支所隣の広場に移転しました。

二神さんの思いに賛同し出店も増えました。各出店者は
①無添加スイーツ 盛川酒造さん
②雑貨 ヘヤさん
③菓子 ホオノキさん
④木工・布製の雑貨 星さん
⑤シフォンケーキ 地域おこし協力隊 二神さん
⑥野菜 森ちゃん農園さん など
にぎわい拡大のため、出店や運営のお手伝いも大歓迎です。皆さん！一度お立ち寄りください。



まちづくり活動・トピックス

70回を迎えた安浦町文化祭記念式典

昨年11月28日、安浦町まちづくりセンターにおいて「安浦町文化祭第70回記念式典」が行われました。コロナ禍のため、来賓席・観客席には間隔をあげ、マスク着用や検温などの万全を期して式典開催に臨みました。

来賓として呉市の新原市長、市議会議長、市民センター長、生涯学習財団理事長、自治連会長、各小中学校長、保育園長など多数のご出席を頂きました。

長年、安浦の文化発展のため、たゆまぬ努力を続けてこられた諸先輩方に感謝するとともに、今後私たちも一層の精進を重ね、次世代へ継承して行かなければ！と、コロナで文化祭自体は中止という寂しさを味わいながら、その思いを強くしています。



真木会長



来賓

山本譲の風景画(内海編)をたどる

1898(明治31)年に安浦町内海で生まれた山本譲氏の風景画を、まちづくり情報誌「TANTO」に連載しています。

山本氏の描かれた450点の水彩画は風物・祭祀・生業・民話など、懐かしい安浦の暮らしを描いています。

安浦町まちづくり協議会では、この価値ある財産をお蔵入りさせないため、町内外の皆さんに絵が描かれた場所を巡り、その当時と現在とを比較して、今昔の感を抱き後世に語り続けます。安浦町の賑わいを高めるため、まず代表的な絵30枚を選び、内海編ウォーキングマップを作りました。

今後、三津口・安登・野路地区編を編集発行する予定です。この企画に興味のある人は参加を歓迎します。

安浦町まちづくり協議会 ☎0823-84-2261 山田



おでかけ情報 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止の場合もあります。)

3月	やすうら青空市 第2・4(日) 9:00~11:00 呉広域商工会安浦支所横広場 (売切り次第終了) 河津桜 開花中 野呂川河口 (実成新開)	5月	やすうら青空市 第2(日) 9:00~11:00 呉広域商工会安浦支所横広場 まちづくり協議会定例会 5/11(火) 18:00~19:00 安浦まちづくりセンター さわやかクッキング 5/14(金) 10:00~12:30 安浦保健出張所 ストレッチング教室 5/18(火) 10:00~11:30 安浦保健出張所 安浦地区育児相談室 5/21(金) 10:00~11:30 安浦保健出張所
4月	やすうら青空市 第2(日) 9:00~11:00 呉広域商工会安浦支所横広場 さわやかクッキング 4/9(金) 10:00~12:30 安浦保健出張所 まちづくり協議会定例会 4/6(火) 18:00~19:00 安浦まちづくりセンター 安浦地区育児相談室 4/16(金) 10:00~11:30 安浦保健出張所 第85回・きらめき音楽館 4/17(土) 14:00~15:00 安浦まちづくりセンター・きらめきホール	6月	やすうら青空市 第2(日) 9:00~11:00 呉広域商工会安浦支所横広場 まちづくり協議会定例会 6/1(火) 18:00~19:00 安浦まちづくりセンター さわやかクッキング 6/11(金) 10:00~12:30 安浦保健出張所 ストレッチング教室 6/15(火) 10:00~11:30 安浦保健出張所 安浦地区育児相談室 6/18(金) 10:00~11:30 安浦保健出張所

やすうら 記憶遺産

実成塩田



1942(昭和17)年当時の実成塩田



江戸時代に赤穂で始まった入浜(いりはま)式製塩法は各地に広まり、宝暦年間の頃、瀬戸内海沿岸は製塩の中心地となっていました。この入浜式塩田の仕組みは、まず堤防で囲いを作った砂浜に溝を掘ります。海の満潮時にうまく溝に海水を引き入れます。溝に入った海水を今度は砂地にまきます。すると、太陽と風で水分が蒸発し、濃い塩水を含む砂が表面に出来ます。この砂を、塩田の中央に掘られた沼井(ぬい)という井戸状の堀に集めるのです。沼井に集めた砂から今度は〈かん水〉と呼ばれる塩分の凝集された水だけを集め、釜で煮詰める〈せんごう〉という作業をします。要約すると、〈かん水〉を集め、釜で〈せんごう〉作業をするという二つの工程から塩が出来上がるのです。

三津口の実成(みなり)新開が完成した翌年の1909(明治42)年、香川から来た製塩業者がこの地を入浜式塩田として操業し始めます。しかし経営は困難が多く、さらに1917(大正6)年の台風高波で堤防が決壊し、断念。翌1918(大正7)年、同じく香川からやってきた木村仁平(きむらにへい)が、せんごう作業に蒸気利用式釜を導入し、様々な経営改革を加え三津口の塩田は発展をとげます。24年間操業した塩田は、1942(昭和17)年に再度の堤防決壊を受け、1943(昭和18)年、海軍の買収により幕を閉じます。そののち、瀬戸内からすべての塩田が姿を消したのは、1971(昭和46)年のことでした。

季節・旬な情報

桜並木の下草刈り

3年前の西日本豪雨災害以来、手入れが行き届かなかった実成新開護岸の桜並木ですが、2月3日(水)公衆衛生推進委員・まちづくり協議会委員・地元自治会役員などで下草刈りを実施しました。

ここに植えられている河津桜と八重桜67本は、安浦の

新しい名所・自慢となるように、平成24～25年にかけて、まちづくり協議会と三津口小学校全児童と一緒に植樹したものです。

植樹5年目からは桜名所となり、春先には見事な花を咲かせて、散策する人たちを和ませています。



山広電機

呉市安浦町内海南1-3-16 TEL 0823-84-2131

「みなさんお元気ですか。山広電機です。3年前の西日本豪雨災害では、地域の皆様をはじめ多数の方々にご支援を頂き誠にありがとうございました。このたびようやく、新店舗が完成し再建の第一歩をスタートしました。」との山広電機さんのメッセージです。

実は山広電機の前身は意外や意外、旅館業でした。主な交通手段が船舶であった時代に、野呂川河口付近で営業していました。

時は流れ呉線開通後は船舶利用者も減り、1957(昭和32)年5月、屋号を山広ラジオとして家電小売りに転業をしました。

裸電球などの小売りから始め、ラジオや三種の神器(白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫)へと時代のニーズに応えた家電販売を展開し、今日を迎えています。

今後とも、頼りにされる街の電気屋をめざして奮闘しますので、皆様よろしくお願ひします。



2代目山広修平氏ご夫妻



山広電機新社屋



山広旅館 絵(山本 譲)

写真でみる今と昔

安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし。懐かしい風景をご覧ください。
※和暦のみ表記

塩谷



昭和50年前後の写真と思われる。塩谷地区はグリーンピア建設のため買収されたが、この写真は古い塩谷地区であり、広大な沼地と撤去前の民家(○枠内)が映っている。



現在、民家は数軒残っているのみであり、沼地は大部分が埋め立てられたままの状態、雑木が生い繁っている。

原畑



昭和40年中頃の写真、野呂川ダム建設の仮設橋と思われる。護岸はコンクリート打ちされているが、橋は未舗装で橋脚は丸太で作られている。



道路は市道・内海～市原線として整備されたが、平成30年の西日本豪雨で寸断され、今も数か所で復興工中である。